

トソー株式会社

(東証スタンダード市場 証券コード：5956)

TOSO
color

第86期のご報告

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日



窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO



✧ トップメッセージ

住宅分野を中心とした販売拡大と「Vision2025」の達成に向け、事業

平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調にて推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策や中東情勢の緊迫化等の地政学リスク、原材料価格の高騰をはじめとする物価上昇や為替変動など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましても、新設住宅着工戸数は建築基準法・建築物省エネ法改正に伴う駆け込み需要の反動により、大幅に減少しました。非住宅向けの建築着工床面積全体は減少傾向にて推移したものの、当社への影響が大きい宿泊施設や飲食サービス業は前年を上回りました。このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第3フェーズ（2024～2026年度）の2年目として、引き続き主力の住宅分野の深耕とあわせて、非住宅分野や海外販売、新規分野への営業活動を展開し、成長戦略を推進しました。これらの結果、当連結会計年度における売上高は23,253百万円（前期比2.0％増加）、営業利益は955百万円（前期比28.0％増加）、経常利益は983百万円（前期比27.1％増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は671百万円（前期比34.2％増加）となりました。

売上高は、成長戦略である非住宅分野および海外販売が伸び悩んだものの、積極的な新製品投入や価格改定等により、コアビジネスである国内住宅市場での販売が好調に推移したことで、前期比2.0％増加となりました。売上総利益率は41.3％と前期を上回りました（前期は40.6％）。原材料価格の高騰や為替変動

窓辺をかえる、明日がかわる。

この言葉には、私たちトーソーの思いが込められています。

「窓辺をかえる」には、世界のライフスタイルの変化を見つめ、アイデアと技術の躍進を図りながら、つぎつぎと新しい製品を開発し、お客様の窓辺を演出していくことを表現しています。

また、「明日がかわる」には、トーソーが演出する窓辺を通じて、お客様の毎日を、そして明日をより魅力的なものにしたいという願いが込められています。

そのために、私たち自らも明日にむかってかわり続けていきます。

窓辺をかえる、明日がかわる。

新しいトーソーがここから始まります。

■1株あたり配当金の推移

	第85期 (2025年3月期)	第86期 (2026年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	6.5円	10.5円
合計(年間)	11.5円	15.5円

収益改善により、増収増益を達成。 領域の拡大と収益基盤の強化に取り組んでまいります。

等の影響もありましたが、原価低減活動や価格改定等が寄与しました。販売費及び一般管理費は、ベースアップ等による人件費の増加やシステム関連費用の発生等により、前期比1.6%増加となりました。営業外損益全体では、受取配当金の増加等により27百万円の利益（前期比2.8%増加）、また、特別損益は製品補償損失の発生等により118百万円の損失（前期は0百万円の利益）となりました。

当社では、2016年4月より経営ビジョン「Vision2025」をスタートしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響等に鑑み、一年延期して2026年度までの目標といたしました。2024年4月より始動した第3フェーズでは、3つの重点施策（新しい企業価値創造、成長戦略の推進、強固な経営基盤の再整備）を推進しております。第3フェーズ2年目となる当期は住宅分野への販売が好調に推移しましたが、中長期的には住宅市場の縮小が続くとみられており、非住宅分野、用途開発、海外販売、新規ビジネス領域など成長戦略の推進が必要と認識しております。

目標とする経営指標として掲げている自己資本当期純利益率（ROE）につきましては、売上増や売上総利益率の上昇等により、親会社株主に帰属する当期純利益が増加したことで、4.4%（前期は3.4%）となりました。

今後、米国の通商政策や不安定な国際情勢に伴う世界的な景気不振や原材料・エネルギー価格の高騰、為替変動など、先行きは極めて不透明な状況が続くと想定されますが、当社グループは「Vision2025」の実現に向け、引き続き新製品開発力や市場への対応力の強化に取り組んでまいります。中長期の展望では、住宅分野の深耕とあわせて需要の拡大が見込まれる非

住宅分野の取り込み、海外販売の強化、保有技術を活用した用途開発、ステッキ等福祉用品等の新規分野でのビジネス領域拡大を進め、持続的な企業成長を図ってまいります。さらに、原価低減、総費用低減の徹底を図り、高収益体質への転換と競争力強化に取り組んでまいります。

株主の皆様への引き続き変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

八重島 真人



2024年3月期（2025年度）
TOSO トソー株式会社
決算説明会
2024年3月14日
会場：東京証券取引所・1001室

詳細な決算説明を
動画で公開しています。
是非ご覧ください。



日本の、そして世界の窓辺へ。 —国内外へ広がるトソー製品

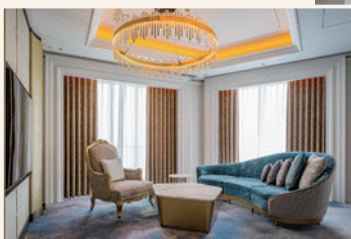
経営ビジョン「Vision2025」のもと、新しい企業価値創造や事業領域の拡大に取り組んでおります。

第3フェーズ（2024～2026）の1～2年目においては、コアビジネスである国内住宅市場において安定した実績を確保するとともに、成長戦略の一つである非住宅分野や海外販売においても着実に成果を上げました。

本特集では、非住宅分野と海外販売における事業領域拡大の取り組みと具体的な事例をご紹介します。

■国内非住宅分野の納入事例

当社は、将来的にコアビジネスである住宅市場が縮小していくことを見据え、事業規模の維持・拡大に向けた施策の一つとして、非住宅分野での売上拡大を目指しております。拡大するインバウンド需要を背景に増加する宿泊施設への納入のほか、オフィス、商業施設、文教施設、官公庁、医療・福祉施設など、さまざまな用途の物件に製品を納入しております。近年は、国内宿泊施設を海外のデザイナーや設計士が手掛けるケースも増えており、海外の高級ホテル獲得活動と連携して、国内外の物件獲得に努めてまいります。



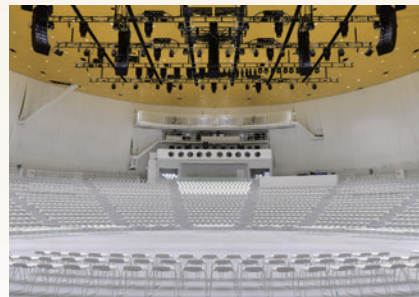
■サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート



■帝国ホテル 大阪



■白石市文化体育活動センター ホワイトキューブ



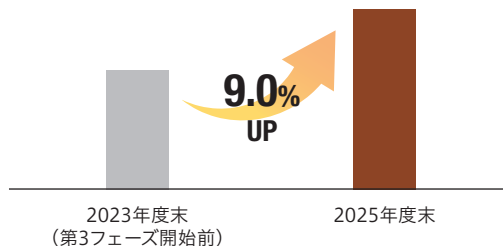
■大阪・関西万博大催事場 EXPOホール「シャインハット」

「Vision2025」 第3フェーズ 重点施策の進捗状況

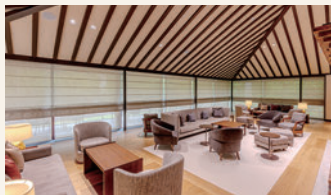
成果・進捗

- 非住宅向けの建築着工床面積は減少傾向で推移しました。一方で、当社売上への寄与が大きい宿泊・飲食サービス業の着工床面積は2期連続で増加し、その結果、当社の非住宅分野の売上も拡大しました。
- 中東情勢に伴う海外輸送への影響など懸念事項はありますが、引き続き中期経営計画の最終目標達成に向け、国内外の物件獲得を推進してまいります。

■ 非住宅分野・海外販売の第3フェーズ開始前との売上比



TOSO製品は住宅だけではなくホテルやオフィスなど、人々の集う多様な空間で活躍の場を広げています！



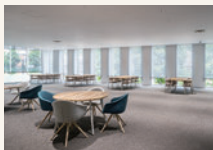
■ ダイキンamica軽井沢



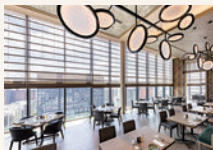
■ 丸紅ビル



■ 文教大学
東京あだちキャンパス



■ 共同印刷 本社ビル



■ ザ・ゲートホテル 福岡
by HULIC

■ 海外での取り組み・納入事例

東南アジアを中心に高級ホテル・リゾートの獲得を進めております。また、物件獲得とあわせて、各国代理店を通じた資材販売も推進しております。操作のスムーズさや品質の高さなどを評価されており、これからも当社は、機能性・意匠性ともに優れた日本の製品を海外へ納入してまいります。



■ ジュメイラ バリ (インドネシア)

国内外物件リスト (一例)

- ザ ロイヤルパークホテル 銀座6丁目
- CONNECT SAPPORO
- ウォルdorf・アストリア大阪
- NHK放送センター
- ANAインターコンチネンタルホテル東京
- グランドハイアット東京
- フェアモント東京

- 那覇市立病院
- エスパシオ ナゴヤキャッスル
- インターコンチネンタル札幌
- 豊田自動織機刈谷本社
- フェアモント ムンバイ (インド)
- ラッフルズ バリ (インドネシア)
- ハイアットリージェンシー クアラルンプール (マレーシア)

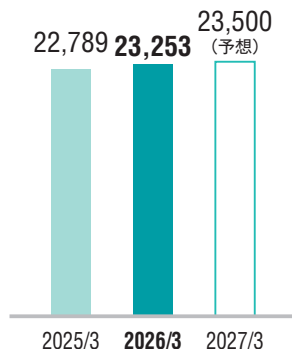


POINT

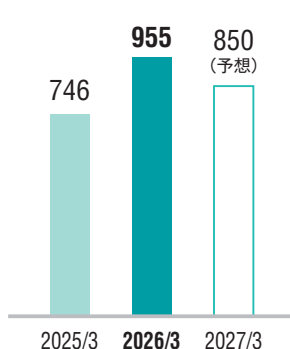
- 積極的な新製品投入や価格改定等により国内住宅市場での販売が好調に推移したことにより、増収
- 原材料価格の高騰や為替変動等の影響もあるなかで原価低減活動や価格改定等が寄与し、増益

(単位：百万円)

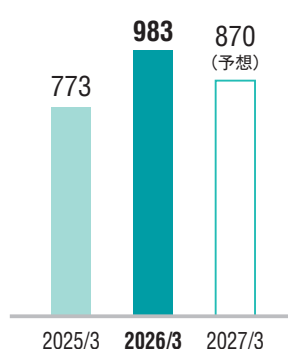
売上高



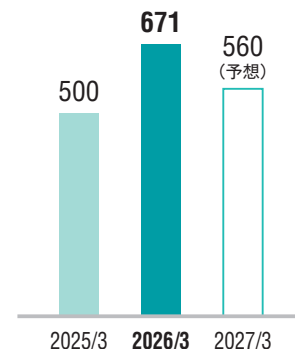
営業利益



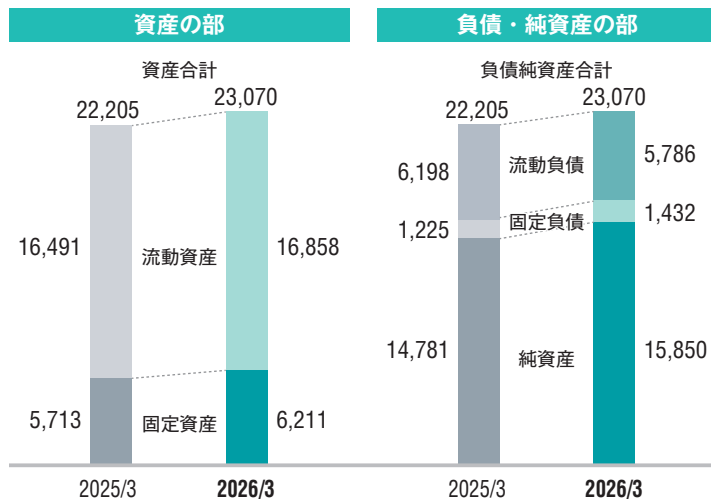
経常利益



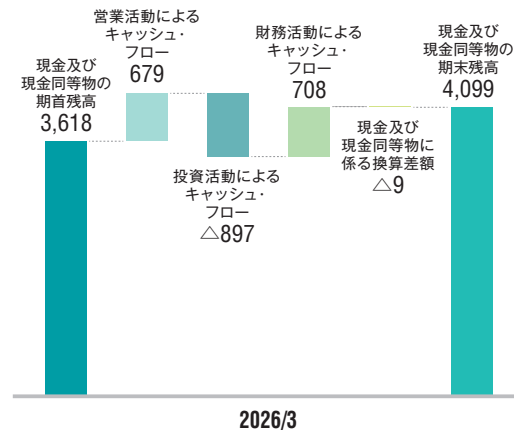
親会社株主に帰属する
当期純利益



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



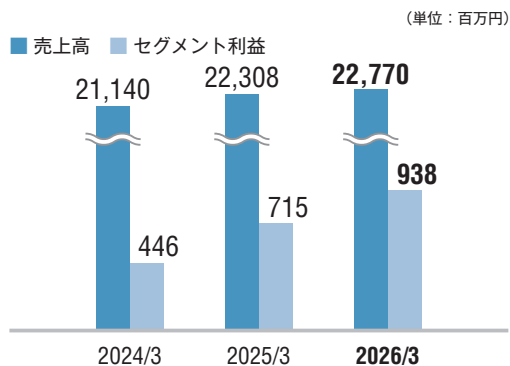
室内装飾関連事業



国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。

当期の営業概況

ウッドブラインドやカーテンレール、電動カーテンレールなどの新製品を発売し、住宅市場でのシェア拡大に努めました。また、非住宅分野の売上拡大や窓以外への領域拡大に向け、コアビジネス・成長戦略双方に寄与する新製品を発売しました。また、新製品展示会「トソー-LAB.」を全国19都市で開催したほか、多数の展示会へ出展し、製品の拡販を行いました。結果、新製品の販売が好調に推移したこと等により、売上高は22,770百万円（前期比2.1%増加）となりました。セグメント利益については、売上高の増加および昨年度より段階的に実施した価格改定の寄与により、938百万円（前期比31.2%増加）となりました。



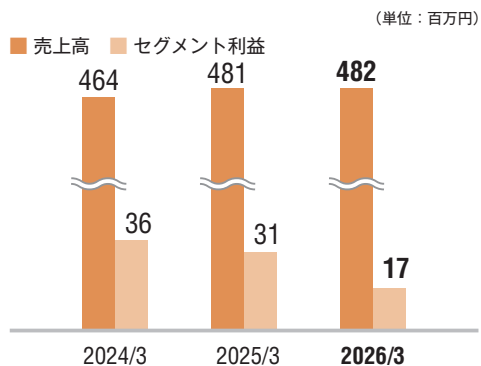
その他の事業



ステッキを中心とした福祉用品を開発、販売しています。

当期の営業概況

ステッキ等の福祉用品の販売活動を推進しました。既存取引先への販売が伸び悩んだものの、新規取引先の獲得等により、売上高は482百万円（前期比0.3%増加）となりました。セグメント利益については、為替影響および要員増による人件費の増加等により、17百万円（前期比45.9%減少）となりました。



サステナビリティに関する取り組み（社会）

ペットボトルキャップ
および使用済切手回収による寄付

2025年度（2026年3月期）よりサステナビリティへの取り組みの一環として、ペットボトルキャップおよび使用済切手の寄付活動を開始しました。回収したキャップや切手の売却益は「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」を通じて開発途上国の子どもたちへのワクチン購入費として活用されます。

本取り組みは、開発途上国の子どもたちへの支援となるだけでなく、焼却されるはずのペットボトルキャップをリサイクルに回すことで温室効果ガス削減にも貢献できます。また、社員が参加しやすい取り組みであることから、社内のサステナビリティへの意識向上にもつながると考えております。2025年度は本社やつくば事業場など東京・茨城エリアの事業所を中心に活動をスタートしました。

当社グループは、持続可能な社会の実現に向け、今後も引き続きサステナビリティへの取り組みを進めてまいります。

※「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」とは、開発途上国の子どもたちにワクチンを贈り、子どもたちの未来を守る活動を行う、民間の国際支援団体です。

※ペットボトルキャップについては高浪化学株式会社様を通じて寄付を行っております。



寄付数

ペットボトル
キャップ **43,000**個
※ワクチン50人分

使用済切手 **1,650**g
+

未使用切手 **10,865**円分

寄付先

認定NPO法人 世界の子どもに
ワクチンを 日本委員会（JCV）※

表紙写真コーナー

あなたの知らない電動カーテンレールの世界



商品情報はコチラ

2025年10月に発売した「レガートコモ」は、住宅のリビングや寝室にもすっきりとおさまるコンパクトな住宅向け電動カーテンレール。正面付けやダブルブラケット付け、カーブ加工にも対応し、さまざまな設置環境に柔軟に対応可能です。また、コンセント不要のバッテリー式も選択できるため、近くにコンセントがない場合でも手軽に電動カーテンレールを取り付けできます。



電動カーテンレール「レガートコモ」

『北欧流インテリアがあか抜ける飾り方のルール30』 2025年10月より発売中

北欧インテリアで暮らしを美しく彩る方法をまとめた書籍『北欧流インテリアがあか抜ける飾り方のルール30』を全国書店で発売いたしました。本書は、北欧インテリアの魅力をひもとく30のルールを、150点の美しい実例写真とともに紹介。北欧の人々が大切にする「心地よく過ごすための空間づくり（ヒュッゲ）」という考え方をベースに、照明・ファブリック・グリーン・小物の飾り方など、どれも身近で簡単に取り入れられる工夫が満載の1冊です。



「第44回 JAPANTEX 2025」 「建築・建材展2026」に出展

2025年11月19日（水）～21日（金）に東京ビッグサイトで開催された、日本最大級の国際インテリア見本市「第44回 JAPANTEX 2025」に出展し、当社製品の展示に加え、カーテン市場の活性化に向けたファブリックスメーカーとのカーテンスタイルの共同展示を行いました。

また、2026年3月3日（火）～6日（金）に東京ビッグサイトで開催された、国内有数の建築総合展「建築・建材展2026」に初出展し、近時増えている洗濯物の部屋干しに活躍するハンギングバー・ランドリーバーを中心に展示いたしました。



第44回 JAPANTEX 2025



建築・建材展2026

健康経営優良法人2026 （大規模法人部門）の認定取得

2026年3月9日（月）に経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度にて、「健康経営優良法人2026」（大規模法人部門）に認定されました。昨年に引き続き3年連続での認定となります。当社は、「人」こそが最も重要な経営資源であると捉え、全ての社員が長期にわたり健康で安心して働き続けられる会社であるために、健康経営を推進しております。これからも当社はすべての社員が意欲的に、安心して働き続けられる環境づくりを進めてまいります。



TOKYO MX 「THE LEADERS ～未来を創るモノづくり企業～」に出演

2026年2月24日（火）にTOKYO MX「THE LEADERS ～未来を創るモノづくり企業～」にて、当社が紹介されました。当番組は、モノづくり王国・関東を代表する企業のLEADER（社長）および技術系のLEADERにフォーカスし、“技術へのこだわり”“製品開発と経営戦略”、そして“将来を見据えた挑戦”を紹介する番組です。当社のモノづくりにかける想いや今後の展望などについて紹介いただきました。なお、放送内容はYouTubeにて視聴可能です。



ご視聴はコチラから

❖ 株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株主への投資魅力を高めることなどを目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待制度内容（割当基準日：3月末日）

保有株式数	継続保有期間*	株主優待内容
100株以上 300株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満 3年以上	図書カード1,000円贈呈
300株以上 500株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満	優待商品（1,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
500株以上 1,000株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
1,000株以上	1年未満	なし
	1年以上3年未満	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（4,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付



※継続保有期間とは、同じ株主番号で株主名簿基準日（毎年3月31日及び9月30日）の株主名簿に、1単元（100株）以上の保有を下記のとおり、連続で記載されていることをいいます。
1年未満 直近株主名簿に記載が2回以下 1年以上3年未満 直近株主名簿に連続3回以上6回以下記載 3年以上 直近株主名簿に連続7回以上記載

インドネシア共和国に
おける植林活動

累計本数 **13,600本**
(2026年3月末現在)

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。ご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。株主優待制度にお申し込みいただかなかった方々の優待相当額と合わせて当期は654,161円を寄付させていただき、植樹とメンテナンスを実施しました。今後も株主の皆様とともに環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

❖ 会社概要（2026年3月31日現在）

会 社 名	トーソー株式会社
英 文 社 名	TOSO CO.,LTD.
本 社 所 在 地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
電 話	03(3552)1211(代)
設 立	1949年9月
資 本 金	11億7,000万円
主な事業内容	インテリア製品の開発、製造、販売 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-3)第16989号 ISO9001認証番号:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部 ISO14001認証番号:JQA-EM2416製品本部/商品開発本部/品質保証部
従 業 員 数	連結990名 単体652名

【役 員】(2026年6月25日現在)

《 取締役 》

代表取締役社長	八重島 真 人	(ヤエシマ マコト)
取締役	滝 澤 靖 久	(タキザワ ヤスヒサ)
取締役	森 木 圭 子	(モリキ ケイコ)
取締役(監査等委員)	齋 藤 博 一	(サイトウ ヒロカズ)
社外取締役(監査等委員)	江 角 英 樹	(エスミ ヒデキ)
社外取締役(監査等委員)	尾 崎 毅	(オザキ タカシ)

《 執行役員 》

執行役員	本 多 敏 光	(ホンダ トシミツ)
執行役員	山 本 航 平	(ヤマモト コウヘイ)
執行役員	神 谷 悟	(カミタニ サトル)
執行役員	太 田 博	(オオタ ヒロシ)
執行役員	平 沼 靖 雄	(ヒラヌマ ヤスオ)

【事業拠点一覧】

営業拠点	札幌支店、仙台支店、さいたま支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店 営業所14カ所
生産拠点	つくば事業場(茨城県)、水海道事業場(茨城県)、兵庫事業場(兵庫県)
物流拠点	流通センター(茨城県)、流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、福岡配送センター
ショールーム	トーソープラザ(東京ショールーム、大阪ショールーム)
連結子会社	サイレントグリス株式会社 トーソーサービス株式会社 フジホーム株式会社 P.T.TOSO INDUSTRY INDONESIA 東装窓飾(上海)有限公司

❖ 株式情報（2026年3月31日現在）

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	10,000,000株
株主数	11,696名

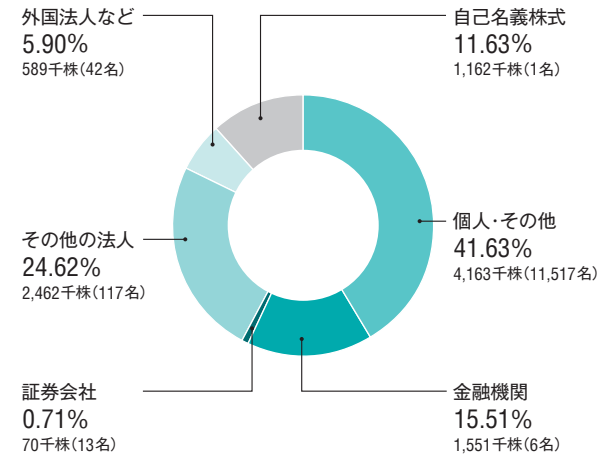
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トーソー取引先持株会	431	4.88
十和運送株式会社	414	4.69
株式会社みずほ銀行	408	4.61
株式会社三菱UFJ銀行	338	3.82
INTERACTIVE BROKERS LLC	288	3.26
トーソー社員持株会	275	3.11
株式会社きらぼし銀行	216	2.45
株式会社常陽銀行	215	2.43
日金スチール株式会社	201	2.28
みずほ信託銀行株式会社	200	2.26

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2) 当社は自己株式1,162千株を保有しております。

所有者別分布状況(株式数)





Instagramのご案内

<https://www.instagram.com/toso1949/>

Instagram 公式アカウント @toso1949

アカウントをお持ちの方はこちらから当社の情報をご覧ください。

また、Instagramのアカウントをお持ちではない場合、「このページはご利用いただけません。」と表示される場合がございます。

この機会に是非当社のInstagramもご登録ください。



IRサイトのご案内

<https://www.toso.co.jp/ir/>

TOSO IR

検索

当社グループでは、ホームページにて即時情報開示に努めております。株主の皆様からのご意見・ご質問もお受けしておりますので、メール等にてお気軽にお寄せください。



❖ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

ホームページ
アドレス <https://www.toso.co.jp>

株主名簿 管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル） 取次事務はみずほ信託銀行株式会社（トラストラウンジを除く）の本支店でおこなっています。
特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申し出ください。

トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
<https://www.toso.co.jp> 証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。